

財政

令和元年度会計の決算を報告します

一般会計の決算が確定しました

令和元年度の決算の収支は、約16億円の黒字になりました。前年度と比較すると、歳入が約9億円、歳出が約4億円減少しました。

歳入の中心である市税は、非木造家屋の新築件数が増えたことによる固定資産税の増加や、たばこの売渡本数が増えたことや税率の引き上げにより、たばこ税の増加がありました。このほか、地方交付税や国庫支出金などが増加した一方で、市債などが減少したことにより、歳入総額は減少しました。

歳出

歳出は、ICT(情報通信技術)を活用した観光施策の推進や農業分野への支援といった地方創生の取り組みや、小・中学校への空調設備整備をはじめとする教育環境の整備、産業振興、企業誘致、公園施設の長寿命化などを重点的に行い、地域の活性化を図りました。障がい者総合支援給付費や子どものための教育・保育給付事業費などの民生費が増加した一方で、除雪対策などの土木費の減少などにより、歳出総額は減少しました。

●問い合わせ：財政課 ☎ 39・1200

Table with 3 columns: 内訳, 収入済額, 割合. Rows include 市税, 地方交付税, 国庫支出金, etc.

Table with 3 columns: 税目, 収入済額, 割合. Rows include 個人市民税, 法人市民税, 固定資産税, etc.

Table with 3 columns: 内訳, 支出済額, 割合. Rows include 民生費, 総務費, 教育費, etc.

Table with 3 columns: 会計区分, 歳入, 歳出. Rows include 国民健康保険, 湊町簡易水道, etc.

Table with 2 columns: 費用, 内訳. Rows include 総務費, 民生費, 衛生費, etc.

財政

市の財政状況をお知らせします

財政指標はおおむね健全です

令和元年度決算では、財政健全化法で規定される全ての比率が法律で定める範囲内に収まっているため、市の財政指標はおおむね健全です。今後、新型コロナウイルス感染症の影響が懸念されますが、安定した行政サービスを提供できるよう、創意工夫しながら、収支バランスのとれた財政運営に努めていきます。

●問い合わせ：財政課 ☎ 39・1200

[表中の語句説明]
▶実質赤字比率…一般会計などの実質的な赤字額の標準財政規模に対する比率
▶連結実質赤字比率…自治体の全ての会計の実質赤字額の、標準財政規模に対する比率
▶実質公債費比率…自治体が負担する公債費の、標準財政規模に対する比率
▶将来負担比率…自治体が将来にわたり負担する債務の、標準財政規模に対する比率
▶類似団体…総務省が全国の市町村を人口規模や産業構造などでグループに分類。本市が属するグループは本市を含めて50市で構成

市の財政を健全化判断比率から見る

健全化判断比率とは、実質的な赤字や資金不足額、公債費などを標準財政規模の額で割ったものです。財政健全化法では、「早期健全化基準」「財政再生基準」を定め、この基準を超えた自治体に対して、財政の早期健全化や財政の再生に取り組むことを義務付けています。市の各種比率は、全て基準内に収まっています。しかし、実質公債費比率は、類似団体の平均と比べると、やや高い水準にあるため、今後も健全な財政運営のために公債費の適正な管理に努めていきます。

Table with 5 columns: 項目, 元年度決算, 30年度決算, 早期健全化基準, 財政再生基準, 類似団体平均. Rows include 実質赤字比率, 連結実質赤字比率, etc.

\*実質赤字額が生じていないため「-」と表記

公営企業の経営を資金不足比率から見る

資金不足比率とは、公営企業の事業規模に対する資金の不足額の割合です。公営企業の資金不足比率が財政健全化法の基準以上となる場合は、公営企業の経営の改善に取り組まなければなりません。本市には、資金不足比率が基準以上となる公営企業がないため、おおむね健全な経営が行われているといえます。

【本市の財政状況を示すそのほかの指標】

市債残高の推移から見る

市債とは、公共施設や道路などの整備に充てるための市の借入金です。借り入れ後5年から30年かけて返済していきます。この毎年の返済額が公債費です。

Table with 4 columns: 区分, 平成29年度, 平成30年度, 令和元年度. Rows include 一般会計, 特別会計, etc.

財政調整基金残高の推移から見る

財政調整基金とは、財源が不足する事態や災害などに対応するため、自治体が積み立てる「貯金」のようなものです。その額は、標準財政規模の10%程度が適正といわれています。市では毎年、決算による剰余金の積み立てに努めています。

Table with 4 columns: 基金残高, 平成29年度, 平成30年度, 令和元年度. Rows include 標準財政規模に対する比率

経常収支比率の推移から見る

「経常収支比率」とは、人件費や公債費などの毎年決まって支出する経費に、市税や普通交付税などの毎年決まって入ってくる収入がどの程度使われているかを示す比率です。この比率は自治体の財政の弾力性を表し、この数値が低いと、新たな行政需要に対して自治体が柔軟に対応できることを示しています。令和元年度の本市の比率は、歳出における人件費や扶助費の増加などにより上昇しています。

Table with 2 columns: 年度, 比率. Rows include 平成27年度, 平成28年度, etc.

※1 標準財政規模…合理的・妥当な水準で行政を行うための標準的な一般財源の規模
※2 臨時財政対策債…地方交付税の代替措置として発行する地方債。元利償還金相当額は、後年度の地方交付税の算定の中で全額が算入される

城前団地の建設を順次進めています



「スーパーシティ」構想のイメージ図

医療や交通、教育、行政手続など、生活全般にまたがる複数の分野で、AI(人工知能)などを活用する先端的なサービスを導入することで、便利で暮らしやすいまちを実現します



出所：スーパーシティ・オープンラボFacebookトップ

会津若松市は「スーパーシティ」構想に挑戦します

スーパーシティに関する  
市民意見交換会を開催

「スーパーシティ」構想とは？

市では、さまざまな分野でICT(情報通信技術)を活用し、「スマートシティ」会津若松」の取り組みを進

めてきました。その中には技術的に可能であっても法令の規制があるため、オンライン診療など、実施が制限されるものもあります。国の「スーパーシティ」構想は、地

国民健康保険特別会計の令和元年度決算を報告します

医療費が増加しています

令和元年度の国民健康保険特別会計は、被保険者数が減少しているため平成30年度よりも歳入・歳出は減少していますが、医療の高度化などにより一人当たりの医療費は増加しています。皆さんの負担を増やさないためにも、特定健診を受診し、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)を予防しましょう。また、ジェネリック医薬品を利用すれば医療費の抑制にもつながります。

●問い合わせ…国保年金課(☎39-1244)



国保年金課では、国民健康保険の交付時に、ジェネリック医薬品希望シールを配布しています

歳入総額の内訳と割合		
内訳	収入済額	割合
国民健康保険税	21億 2,011 万円	18.2%
県支出金	79億 1,848 万円	67.9%
繰入金	13億 9,596 万円	12.0%
そのほか	2億 2,359 万円	1.9%
合計	116億 5,814 万円	100%

歳出総額の内訳と割合		
内訳	支出済額	割合
保険給付費	77億 8,534 万円	68.2%
国民健康保険事業費納付金	30億 3,063 万円	26.5%
そのほか	6億 429 万円	5.3%
合計	114億 2,026 万円	100%

被保険者の状況			
区分		平成30年度	令和元年度
加入状況(年間平均)	世帯数	16,943世帯	16,486世帯
	被保険者数	27,005人	25,953人
医療給付(1人当たり)	医療費	344,484円	352,032円
	受診件数	10.7件	10.8件

介護保険特別会計の令和元年度決算を報告します

介護をみんなで支える仕組み

本市では、高齢者人口の増加とともに介護が必要な人も増えているため、保険給付費は年々増加しています。介護保険は、皆さんの納める保険料で支えられています。特別な事情がない限り、保険料は忘れずに期限内に納めましょう。

●問い合わせ…高齢福祉課(☎39-1242)

被保険者数		
区分	平成30年度	令和元年度
75歳以上	18,806 人	18,824 人
65歳以上75歳未満	16,975 人	17,305 人
40歳以上65歳未満	39,300 人	38,776 人

介護サービスの受給者数		
区分	平成30年度	令和元年度
居宅介護サービス	3,882 人	3,948 人
地域密着型サービス	617 人	689 人
施設介護サービス	1,317 人	1,305 人

総合事業サービスの受給者数		
区分	平成30年度	令和元年度
訪問型サービス	443 人	443 人
通所型サービス	1,189 人	1,218 人

歳入総額の内訳と割合		
区分	収入済額	割合
保険料	23億 7,167 万円	19.2%
支払基金交付金	29億 9,464 万円	24.3%
国庫支出金	29億 3,189 万円	23.8%
県支出金	16億 9,407 万円	13.7%
繰入金	19億 8,728 万円	16.1%
そのほか	3億 5,902 万円	2.9%
合計	123億 3,857 万円	100%

歳出総額の内訳と割合		
区分	支出済額	割合
保険給付費	106億 2,661 万円	88.4%
地域支援事業	7億 6,086 万円	6.3%
基金積立金	1億 5,519 万円	1.3%
そのほか	4億 8,377 万円	4.0%
合計	120億 2,643 万円	100%



特別養護老人ホーム会津敬愛苑では、利用者の皆さんが楽しく過ごしていました(10月9日)

ぜひ、意見交換会に  
おいでください

域を限定して「規制改革」を行うことで、先行的により良い暮らしを実現していく取り組みです。今後、国がこの構想に取り組み自治体を募集する予定であるため、市では応募する準備を進めています。国の例示では、自動運転の車による移動やドローンを使った「モノ」の配送など、複数のデータを連携させることで、さまざまなサービスを受けることができるとされています。現在、市の実施内容は検討中です。

市では、スーパーシティ構想を身近に感じてもらい「スーパーシティでこんなまちになってほしい」「こんな課題を解決してほしい」など、市民の皆さんからさまざまな意見をいただく意見交換会を開催します。

▼とき…11月10日(火)午後6時30分～8時30分

▼ところ…會津稽古堂

▼内容…◎市長による「スーパーシティ」構想挑戦への説明◎「スーパーシティで実現したい未来」をテーマにした意見交換

▼対象…市内に在住・通勤している人

▼定員…40人※先着順

▼申し込み方法…ファクスか電話で

企画調整課(FA X 39-1400)へ申し込み※ファクスで申し込みをする場合は、氏名・性別・年齢・職業・電話番号かメールアドレスを記入。市のホームページから申し込みも可。左のQRコードから申し込みできます

▼申し込み期間…11月1日(日)～8日(日)

意見交換会に参加できなくても、意見を伝えることができます。意見交換会終了後、当日の資料を市のホームページに掲載します。スーパーシティで実現してほしい内容など、皆さんからの意見をお待ちしています。なお、意見に対する回答はしませんのでご了承ください。

▼意見の提出方法…意見などを記入の上、メールで企画調整課(メール kikaku@tw.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp)に提出

▼受付期間…11月11日(水)～15日(日)

●問い合わせ…企画調整課(☎39-1201)



意見交換会の申し込みフォームのQRコードはこちらから